

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	水田農業構造改革対策事業	会計名称	一般会計		担当課	農業振興課	
		予算科目	6 款 1 項 4 目	事業番号	2510	所属長名	窪田春樹
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	本田真	
法令根拠等	伊予市ひめの凜生産拡大支援事業実施要領及び事業費補助金交付要綱 令和2年度ひめの凜生産拡大支援事業実施要領及び事業費補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 魅力ある農業の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	魅力ある農業の振興のための水田農業対策						
事業の対象	水田耕作農業者			事業の目的	暑さに強く食味に優れる有望な品種である県育成米「ひめの凜」の普及・定着のため、早期のブランド確立を図ることを目的とする。		
事業の内容 (整備内容)	愛媛県オリジナルの良食味米である県育成米「ひめの凜」の種子導入に支援することにより生産拡大を図る。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	1,095	252	18	0	0	145	水稲作付け確認面積	ha	604	597	597	597
財源内訳	0	0	0	0	0	0						
国庫支出金	988	0	18	0	0	18						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	麦(ハルヒメボシ)作付け面積	ha	52	0	0	0
一般財源	107	252	0	0	0	127						
職員の人工(にんく)数	0.10	0.10				0.10	推奨米(ひめの凜)作付け面積	ha	1	2.2	2.2	2.2
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費+人件費	1,894	1,033				926						
主な実施主体	JAえひめ中央		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄) 補助金									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
					279	279	279	279	279	1,395		
成果指標	指標	当該年度作付け計画面積/当該年度作付け実績面積×100			単位	区分年度	前年度	2年度	3年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	当該年度の作付目標面積に対して実績と比較することで事業効果を測る。			⇒	目標	100	100	100	100		
	指標で表せない効果					実績	99.8	100				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		表 (ハルヒメボン) に対する助成については、実施主体であるJAとの協議の結果、取り組み面積の拡大は見込めないと判断し、今年度は実施していない。										
事務事業の事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	夏	夏	夏の暑さに強く、食味に優れる有望な品種である県推奨米 (ひめの凜) の種苗導入に対して補助を行い、早期の生産拡大を目指す。作付面積は昨年度の100 a から220 a へと増加している。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多々ある。	4							
	効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	市、JA、県との連携を密に行い、県推奨米 (ひめの凜) の周知及び生産面積の増加に繋げる必要がある。ただ栽培に取り組むには県の認定栽培者になる必要もあり、農業者にも技術向上など意識向上を求めていく必要もある。			
			コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
		市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A			事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、新たな米政策に対応すべく①競争力のある県産米の生産・販売体制の確立②水田フル活用の高度化③持続的な水田農業を支える基盤の確保に向けた取組を推進する事業で、産地が主体的に今後の振興策を構築する有意義な事業であるため、事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多々ある。	4								
効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	所屬長の課題認識	本事業は、水田農業における全ての関係者が一体となり、創意工夫をしながら地域に合った水田農業の在り方を創り出し、戦略的に展開・実践していく取組に対する支援である。今後も主食用米の消費が減少する中で、生産者所得を向上させるには、多収で良質な裸麦への転換や県オリジナルの良食味米を推進するなどして、水田のフル活用を図る必要がある。				
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
	市民 (受益者) 負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	